

子どもの声が未来を創る

～安芸太田町から全国へ届ける、次世代との対話の物語～



安芸太田町教育委員会



子どもたちの心の奥にある、小さな諦めと大きな願い。
行政が子どもを単なる「守るべき対象」としてだけ見ていては、この声は拾えません。
こども基本法の理念のもと、私たちは新しい一歩を踏み出しました。

安芸太田町教育委員会

おとなも子どもも、本当は同じ方向を向いている！



「自分の声で、大好きな町をもっと良くしたい。」
この素直な思いこそが、地域の未来を切り拓く原動力じゃ！

安芸太田町教育委員会

2

おとなにはない視点が、町を育てる



安芸太田町教育委員会

3

安芸太田町教育振興基本計画の挑戦



4

声を「受け止め」、丁寧に「返し」ていくおとなの役割

ステップ1:【環境づくり】



「どう伝えたらよいか分からない」という不安に寄り添い、スマホや対話の場など多様な手法で声を届きやすくする。

ステップ2:【まずは受け止める】



すべての意見を即座に実現できなくても、真摯に耳を傾ける。

ステップ3:【伝え返す(フィードバック)】



「なぜその意見が大切か」
「どのように検討されたか」を丁寧に説明する。

この双方向の対話の循環が、『自分は社会の一員として認められている』という自己肯定感と安心感を育むんじやよ。

安芸太田町教育委員会

5

「安芸太田町らしいウェルビーイングの向上」の本質



子どもが未来への希望を語り、
おとながその声に真摯に耳を傾ける。
共に地域の未来を考え、創り上げていく営みそのが、
教育振興基本計画が目指す豊かな生き方
指す豊かな生き方（ウェルビーイング）なのです。

安芸太田町教育委員会

6

子どもたちの声は、未来を照らす希望の光

安芸太田町からのこの新たな挑戦が、
全国における「子どもの意見表明の推進」と、
「子どもとおとなが共に未来を創る社会」の実現に向けた、
大きな希望の道標となることを願っています。



安芸太田町教育委員会